

道徳的価値を理解し、

自己の生き方についての考えをもつ児童の育成

～「気持ちカード」と「広げるシート」を活用した交流活動を通して～

特別研修員 道徳 飯野 聡子（小学校教諭）

【目指す児童像】道徳的価値を理解し、自己の生き方についての考えをもつ児童

振り返り

相手の気持ちを考えてそっとしてあげるのも思いやりだな。これからは友達の気持ちを考えて接したい。

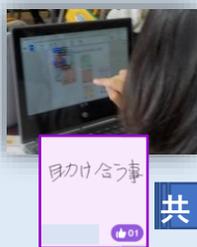


思いやりは相手のことを尊重することなのだ。これからは相手の気持ちを考えて行動できる人になりたい。

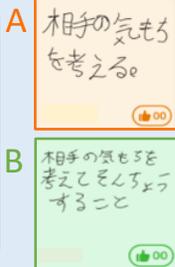
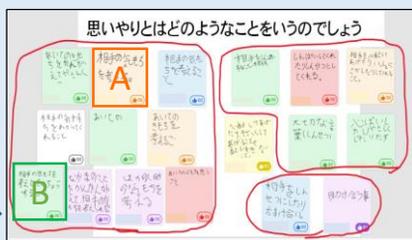
めあてについてもう一度考える場面

手立て② 「広げるシート」を活用して道徳的価値に対する考えを共有し、考えを深める活動

道徳的価値に対する考えを1人1台端末の付箋に書いて出し合い、全員で共有した「広げるシート」を活用し、友達の考えに共感を示し、理由を交流することで考えを深めさせる。



共有



意見交流

Aさんの意見がよいと思った。もし自分だったら、気持ちを分かってもらえたら嬉しいから。

自分では思い付かなかった考えだったから、Bさんの意見がよいと思ったよ。



教材を通して考える場面

手立て① 「気持ちカード」を活用して自分の考えを明確にし、交流する活動

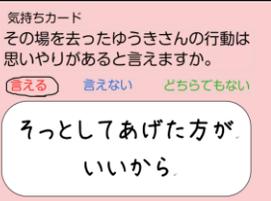
1人1台端末を活用し、背景の色を変えることで自分の考えを明確に示し理由を簡単な文章で記入させた「気持ちカード」を基に意見を交流させる。

自分の考えを入力しよう！

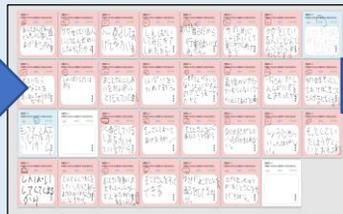
違う考えの友達に話を聞きたいな

「言える」を選んだよ。

どうしてそう思ったの？



大型モニターで全体を把握



意見交流



まことさんはそっとしておいてほしいと思っているからだよ。

めあて 「思いやりとはどのようなことをいうのでしょうか」

優しくしてあげること。



心配してあげること。

実践例

主題名 相手の気持ちに寄り添って 内容項目 B-(6) 親切、思いやり
教材名 「ゆうきの心配」(出典:「新訂 新しいどうとく4」東京書籍)

【児童の実態】自分の考えをもてずに、友達の意見に流されてしまうことがある。

【教師の願い】自分の思いをもち、伝え合うことで様々な考え方に触れ、自己を見つめてほしい。

成果

- 「気持ちカード」で視覚的に自分の考えを表すことで、道徳的な課題を自身の問題として捉えて、全員が自分の考えを表明することができた。1人1台端末を持って交流することで、自分の考えと比較しながら多様な意見に触れることができた。
- 「広げるシート」で道徳的価値に対する考えを共有し、共感した理由を交流することで、ねらいとする道徳的価値についての考えを深めることができた。他者の多様な感じ方や考え方に触れることで自己を見つめ、これからの自分はどのようにしていきたいのかを考えることにつながった。

課題

- 「気持ちカード」の選択肢を生かせるような発問、大型モニターに映すタイミング、交流後に意見が変わった場合のカードの変え方などを考えておく必要がある。
- 「広げるシート」を活用し、更に道徳的価値に対する考えを深めるために、児童自身が類似の意見をまとめる、共感を示す前に十分な意見交流を行う、といった工夫が考えられる。